

ヨシノボリ類 (ハゼ科)

茨城県に分布するヨシノボリ属魚類は、シマヨシノボリ、トウヨシノボリ、オオヨシノボリ、ゴクラクハゼの4種とされる。これらの分布域は県内でも主要地域が異なっており、概要は次のようである。なお、国内の分布はいずれも北海道を除く日本全国となっている。

- ・トウヨシノボリ…霞ヶ浦水系や利根川水系，那珂川，久慈川水系
- ・シマヨシノボリ…那珂川や久慈川水系，県北地域の各河川の中下流域
- ・オオヨシノボリ…久慈川水系や県北地域の各河川の上流域
- ・ゴクラクハゼ…霞ヶ浦水系

また、ヨシノボリ類の生息数から県内の分布をみると、トウヨシノボリは霞ヶ浦水系や利根川水系では普通にみられるが久慈川水系では少なく、シマヨシノボリは久慈川水系や那珂川では普通であるのに対して霞ヶ浦水系ではあまりみられないという違いがある。オオヨシノボリにいたっては、分布が知られる河川であってもそれほど確認できない。

さらには、同じ河川であっても上流や中流，下流といった流域による分布の偏りを認めることができる。例えば、久慈川水系のトウヨシノボリでは、一次支流のうち比較的流れの緩い玉川には比較的多く生息しているが、その他の支流では稀にしか確認することができない。決して珍しい魚ではないが分布様式は複雑であり、なかなか面白い。なお、オオヨシノボリは茨城県レッドデータブックで希少種に選定されている。

トウヨシノボリ 学名： *Rhinogobius* sp. OR (Orange type)



大きさ：7 cm

特徴：胸鰭基底上部の円形の暗色斑や、

尾鰭基底付近が橙色をしている個体が多い。頬に縞模様はない。

シマヨシノボリ 学名 : *Rhinogobius* sp. CB (Cross-Band type)

大きさ : 7 cm

特徴 : 頬にミミズ状線があること、胸鰭基底に複数の三ヶ月状斑があること、尾鰭基底にカモメ状の斑紋があることなどで、トウヨシノボリやオオヨシノボリと容易に区別できる。

**オオヨシノボリ** 学名 : *Rhinogobius* sp. LD (Large-Dark type)

大きさ : 10 cm

特徴 : 胸鰭基底上部にある円形の暗色斑や尾鰭基底に太い暗色横帯があることから他の2種と区別できる。



備考：霞ヶ浦では、トウヨシノボリの稚魚を“とおりゴロ”などと呼んで張り網などで漁獲している。漁獲された稚魚は佃煮に加工される。この“とおりゴロ”は河川への遡上途中のものを漁獲するもので、漁業者によれば河川に近い漁場でなければ思うように獲れないらしい。

主な文献：

丹下 孚・加瀬林成夫（1956）霞ヶ浦北浦産魚類目録．茨城県水産振興場調査研究報告，昭和 28～29 年度：1-10.

中村 誠（1986）霞ヶ浦・北浦の魚種組成について．茨城県内水面水産試験場調査研究報告，23：61-66.

杉浦仁治・根本隆夫（1997）1994 年～1996 年久慈川及び鬼怒川における投網等による漁獲物．茨城県内水面水産試験場調査研究報告，33：89-108.

中村 誠・杉浦仁治（1998）牛久沼の魚類相について．茨城県内水面水産試験場調査研究報告，34：77-80.

中村 誠・根本隆夫・杉浦仁治（2000）1997～1999 年那珂川における投網等による漁獲物．茨城県内水面水産試験場調査研究報告，36：85-98.

茨城県内水面水産試験場（未発表）平成 18～21 年度県北河川魚類相調査報告.